

例会報告：2016年2月16日（晴れ） 第1923回 通常例会

◆ 会員誕生日

村瀬 雅實さん（2月16日）
櫻井 康二さん（2月19日）



◆ 奥様誕生日

木村 綾乃さん（2月18日）

◆ ニコニコ箱

櫻井 康二 委員長

	ニコニコ箱	累計	目標
2月16日分	28,270	585,271	1,300,000

* ビジター

川田 隆志様（小田原中RC）…度々お邪魔させて戴きます。

* 会員誕生日

村瀬 雅實さん…誕生日のお祝いありがとうございます御座います。今日で76才になります。健康に留意して元気に過ごしてまいりたいと思います。

櫻井 康二さん…お誕生日を祝っていただきありがとうございます。ありがとうございました。

* 奥様誕生日

志澤 昌彦さん…奥様誕生日をお祝い頂きありがとうございます。河野様の優しい気持ちに感謝しております。

木村 頼弘さん…家内の誕生日祝いありがとうございます。怒らせると怖いので気を使っています。

* その他

清 康夫…この2月10日、湯本富士屋ホテルにて当社50周年記念式典と祝賀会を行い、お客様、各関係の方々300人の出席を頂き、無事に終わることが出来ましたので少々。

河野 秀雄…清さん、創業50周年おめでとうございます。盛会でしたね。清さんの人徳なんですね。ご自愛下さいませ。

菊地 義雄さん…昨日は楽しい一日でしたので・・・

石崎 孝…長田さん入会おめでとうございます。会員皆様よろしくお願いたします。お店の「食の壺」のご利用も合わせてお願いたします。

久保田 知子さん…平本様、本日は宜しくお願致します。

大川 久弥さん他…先日有志で行われた飲み会の残金を少々。

城北RC にここに（渡部さん・守屋さん・小川さん・執行部4名）…今季初の5人グループを開催しました。

城北RC にここに（渡部さん）…5人グループを開催し、盛り上がり楽しい時間が過ごせました。

■ ■ 今後のメークアップ情報 ■ ■
-2016年2月-

▶24日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：社会保険労務士 大谷 真様」

▶25日(木) 小田原中 報徳会館 17:30
「クラブフォーラム：新会員セミナー報告」

▶26日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「卓話：クラブ協議会⑤次年度役員編成」

▶26日(金) 足柄 夜間特別例会 18:30～

▶29日(月) 小田原 特別休会

-2016年3月-

▶1日(火) 箱根

▶2日(水) 小田原北 休会

▶3日(木) 小田原中

▶4日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「会員による卓話」

▶4日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30
「会員による卓話：担当 社会奉仕」

▶7日(月) 小田原

▶8日(火) 箱根

▶9日(水) 小田原北

▶10日(木) 小田原中

▶11日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「会員による卓話：担当 社会奉仕」

▶11日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30
「会員による卓話：担当クラブ研修」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
 事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
 電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
 URL：<http://www.odawarajhrc.jp>
 Mail：info@odawarajhrc.jp
 例会場：小田原卸センター内会議室
 創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
 例会：毎週火曜日 12:30～13:30
 クラブ会報委員会
 監修：柳井 渉
 編集長：小林 和彦
 コピーライター：小林 和彦
 デザイン：小林 和彦
 フィールド：大川 久弥

会員数：42名



RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2015-2016
WEEKLY BULLETIN



世界へのプレゼントになろう

世界へのプレゼントになろう Be a gift to the world

本日の例会：移動例会 記念植樹（第1924回）

会場：小田原フラワーガーデン
日時：2016年2月23日 12：30～13：30
司会：須藤 公司 副幹事

12：30	開会点鐘：木村 頼弘 会長 ロータリーソング斉唱 「それこそロータリー」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13：00	移動例会 記念植樹
13：30	閉会点鐘：木村 頼弘 会長



【会 長】木村 頼弘
【副会長】久保田 知子
【幹 事】柳井 渉
【副幹事】須藤 公司
【会場監督】西 寛

楽しさと感動を呼ぶ一年にしよう

- 【今後の例会・卓話スケジュール】
- 3月1日（火）40周年卓話例会 12:30
 - 3月8日（火）40周年準備例会 12:30
 - 3月15日（火）通常例会
クラブ協議会（PETS報告）
 - 3月22日（火）通常例会
クラブフォーラム（社会奉仕）
 - 3月29日（火）休会
 - 4月2日（土）40周年記念式典
 - 4月12日（火）通常例会 12:30
担当：鈴木会員
卓話：みずほ証券（株）経営調査部投資教育推進室
室長 浜崎祐一郎様
 - 4月19日（火）通常例会 12:30
クラブ協議会（地区協報告）

■地区活動目標の概要

1.奉仕活動	ポリオ撲滅最優先 R財団地区補助金事業推進
2.公共イメージ	IM クラブ周年記念事業 ロータリーデーなどイメージ向上の機会を創る
3.寄付	財団 : 一人当たり 200ドル以上 米山奨学 : 一人当たり 20,000円以上 ポリオ撲滅 : 一人当たり 40ドル以上 ベネファクター：1クラブ 1名以上 ロータリーカードの普及
4.会員増強	10パーセント 衛生クラブを立ち上げる。
5.中核的価値観	ロータリーを学び、また学ぶ機会として、例会・IM・地区委員会・地区セミナー・地区大会・国際大会の出席率を高める。
6.オンラインツール	My Rotary ロータリークラブセントラルにクラブ情報入力
7.特別月間	戦略計画とR財団6つの重点分野を学び実践する機会として理解する。

例会報告：2016年2月16日（晴れ） 第1923回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2016年2月16日 12：30～13：30

◆ 会長挨拶

「健康と寿命」



木村 頼弘 会長

今期の活動計画書によると当クラブの平均年齢が61歳です。また、70歳以上の方が12名おります。でも何故かみなさん今の所大変お元気で何よりだと思えます。

私も去年60になりましたので、今日は、「健康と寿命」についてお話しします。日本の男女の平均寿命は84歳で、これは世界第1位です。日本がいかに、高齢化社会だとい

う事がわかります。しかし、いくら長生きしても、健康でなければ全く意味がありません。従来は、健康的な生活を送るのに、バランスのとれた食事や運動、そして衛生管理が基本だとされてきました。しかし今の時代それ以上にもっと大切な物が求められています。それは何かと言う前に先ず

「健康と寿命」を害するもの、代表的なものが5つあります。健康と寿命を害するもの、下から順に申し上げます、第5位が太り過ぎの人、第4位が運動しない人

第3位がお酒を飲み過ぎる人
第2位がタバコの吸い過ぎな人
第1位は「人と人とのつながり」が無い人、という結果が出ています。要は社会的に孤独な人は、早死にしやすいと言われています。相談する相手も、自分の事を認める人も、気にかけてくれる相手もない、要はコミュニケーションのない状況が長期的に続くと、その結果「精神的に追い詰められ」

「孤独感が増幅して」「生きる気力を失い」突発的な病気を引き起こすと言われています。

人間関係が希薄になった今の時代、「人とつながる」という事が1番必要だと言われています。

「人と人が繋がる」と言う事は、勿論、家族や仕事関係がありますが、それ以上に組織や団体に所属したり趣味の仲間を作ったりする事が大切だと言われています。そこには自分自身の存在場所があり、生きる目的と責任が得られます。

様々な刺激を受ける事で、その結果、生きる喜びが生まれ、健康で長生きすと報告されています。でも、人間同志のつながりですから、ぶつかる事も嫌なこともあると思います。

その反面楽しい事も沢山あるわけです。そういう様々な事を自分への良い刺激だと思う事が大事で、上手に人間関係を作っていく事が、これからの新しい健康作りだと言われています。当クラブも多少のすったもんだはありますが、お互い良い刺激だと思って、あまり腹を立てない事です。「人とのつながり」それは、すなわちその中に自分の人生がある訳ですから大切にしたいと思えます。

私も皆さんと良い関係を創って、健康で楽しい老後がこのクラブで迎えたいと思っております。

◆ 幹事報告



柳井 渉 幹事

1)地区より国際大会参加の再募集が来ています。3月31日までロータリーファミリーを含めあと2名の登録のお願いと、新世代やロータリーファミリーの参加者には登録料・旅費・ホテル代に対し5万円の補助（事後の精算）が支給されます。

2) 2月15日小田原ロータリークラブに、木村会長、菊地会員と幹事の3人でアラリア基金終結の報告に行ってきました。

3) 次週は移動例会となっていますのでお間違えの無いようお願いいたします。

◆ 出席報告

阿久津 馨 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
2月16日	42(39)	33	2	89.74%
2月9日	42(39)	28	1	74.36%
2月2日	42(41)	35	1	87.8%

【欠席者】6名
金山 慶昭、臼井 真一、石坂 弘之、鈴木 竜哉、杉崎 勝成、上田 博和

【今回MU】2名
鈴木 竜哉 (2/12 新会員の集い)
杉崎 勝成 (2/14 米山)

【前回MU】増加なし
【前々回MU】増加なし

◆ 委員会報告

40周年実行委員会 大川副委員長

2/23の移動例会はフラワーガーデンで開催になります。40周年の一連の行事の最初になりますので、皆様必ずご出席いただけるようお願いいたします。3/1も40周年の委員会があります。4/2まで行事が目白押しですが、予定を合わせてぜひご参加ください。

40周年総務財務委員会 志澤委員長

ご招待の発送を実行中ですが、ご連絡先をご存じでしたらご協力いただきたいと思います。まず米山学友の林 珊如さん、さん、宋 一さん、趙 晶さんのメールアドレスが分かりません。また、ローテックスの井上 萌子さん、キンヨウコさん、島田 綾子さん、GSEの佐々木さん、ウチダテ アイさん。もしもご連絡先等ご存じでしたらお教えください。

◆ 卓話

「社会福祉事業の今に思うこと」



社会福祉法人 神奈川県社会福祉事業団
常務理事・平本 茂 様

本日は現状の福祉事業に対する私の思いや、私の勤務する神奈川県社会福祉事業団の沿革などを含め、お話しいたします。

最初に神奈川県社会福祉事業団について。ご覧の建物は法人本部及び各事業所の事務統括を担う総合経営センターの所在する横須賀老人ホームです。左手にも同じ4階建て建物があり、全国でも大きさでは3本の指に入る規模となっています。本部と総合経営センターは今年6月に横浜馬車道の神奈川県中小企業共済会館に移転する予定です。この写真はうちの本部5階から見る東京湾です。左に見えるのが房総半島で、中央に見えるのが車両運搬船です。右手には野比海岸、三浦海岸から三浦半島が見えます。風光明媚な場所で、映画やドラマの撮影にも使われています。

2011年、東日本大震災の時は幹部が35人集まって会議をしていました。東京湾もかなり潮が引いて、その後2mほどの津波が来ました。房総半島が無かったら直撃だったのかもしれませんが。横須賀は停電で道路も通行止め。家に向かったのですが、夕方5時に出て着いたのが翌朝5時でした。うちの職員も県からの要請で150人くらい1年間かけて大船渡など被災地へ出向きました。

神奈川県社会福祉事業団の沿革です。昭和35年に当時の内山知事が『神奈川県を福祉県にする』と宣言し、県内福祉増進のため昭和37年4月に設立されました。事業団という方式は昭和46年からで、最近では経済的な面から自立するよう勧められています。平成17年から給料を20%削減して自立の道筋を立て、平成21年4月1日に県から離れた法人になりました。今年4月で55年目になります。当法人の経営計画の中では100年法人を目指すと言っていますので、後輩たちにあと45年頑張ってもらいたいと思います。

施設の概要を説明します。特別養護老人ホーム、介護保険法で言いますと介護老人福祉施設ですが、横須賀で短期入所を含めて224名、箱根で90名、湘南で162名、計476名の定員です。他に県内では1か所しかない視覚障がい者専用の養護老人ホームを持っています。あと、認知症グループホーム、有料老人ホーム、川崎の児童養護施設、保育所が横浜で3ヶ所、川崎で2ヶ所あり、他にもデイサービス、居宅介護支援事業所、市町村事業の地域包括支援センター等を運営しています。川崎にある総合児童福祉施設は国内でも珍しい保育園との合築施設で、私たちが川崎市にプレゼンして認可されたものです。児童養護施設はタイガーマスク運動と呼ばれる、ランドセルを贈ったりお菓子を贈ったりというニュースで脚光を浴びていますが、国からの運営支援は悲しくなる程度しか出ません。保育園は今改善費がある程度出ています。高齢者へはそうでもなくて、方向が色々あるようです。

当法人のその他の事業です。総合経営センターは所謂事務局で、法人の財務管理や給与管理等を行っています。研修センターは大学の先生や社会福祉事業に貢献されている地域の方たちを講師に呼んで、地域密着型事業の研修等を行っています。また介護初任者研修も私どもは認可を受けて自前で行っています。それが職員のスキルアップへ繋がります。あと、収益事業センターはインターネットを使った通販、コクヨグループのウィズカウネットという法人向けサイトで、みなし寄付金という形でお金を入れています。

法人のこれからの経営戦略分析なども行っています。職員総数は平成28年2月現在で正規職員が361名、有期雇用職員が284名で、合わせて645名。厨房は11施設中9施設が委託で、そこにも職員が70名くらいいると思います。総勢700名を超える法人です。

当事業団の経営理念です。平成21年度に自主自立した際、当法人が新たな歴史を歩むために全役職員の心の拠り所となるべく制定した経営理念です。「神奈川県社会福祉事業団は人に優しい豊かな心をもって地域福祉の信頼ある担い手として地域社会に貢献していきます。また皆の笑顔あふれる福祉サービスの向上に努め、日々新たな気持ちで活力ある経営を目指します」。画面上のマスコットキャラクターは登録商標になっています。名前は保育園名からとっています。これをプリントしたポロシャツやTシャツを着て介護施設や保育園で仕事をしています。経営理念の理念とは信条＝固く信ずる事柄です。各事業所が朝のミーティング、会議に必ずこれを確認する。当法人が作る経営企画、経営に関する計画、全ては必ずこれから始まるように。理念を一単元と考えず螺旋で結んでスパイラルアップさせて、あらゆる法人の発展向上に繋がっていく。それを理想として掲げたいと思います。何より理念の根拠は、一人一人の個々の心の持ちよう・有りよう・拠り所です。人に優しいとは、思いやりがある・情け深いこと。思いやる心の源は想像する力です。それらにより、揺るぎない仕事に対する気持ち、信頼ある福祉従事者としての心の安定を生みます。当法人には3つのキーワードがあります。ご利用者主体、現場主義・地域主義、人を育て財産にする。それを何よりも強く願い、100年法人を目指しています。

社会福祉法人の現状と課題です。平成25年の閣議決定で社会保障制度改革国民会議が設置されました。社会福祉法人が地域貢献していないとか、財務面の透明性がないとか言われますが、元々国が作った法律に基づいてやっている法人なので少々疑問に思います。その中で『効率的運営の強化』がよく言われていました。市場開放で会社法が改正され外資投入したところから始まり、社会福祉基礎構造改革が行われました。特別養護老人ホームも介護保険制度で契約だ、市場原理だから契約して重要事項説明をつけろ、といった流れになりましたが、サービスの質の向上にはなっていないと議論されています。最近多い事故は株式会社が運営する有料老人ホームで起きています。特別養護老人ホームとははっきり分けてもらいたいです。去年、社会福祉法の改正が審議されました。一番大きなものは評議委員会に議決権を持たせて、経営担当理事を任命・解任する権を与えることです。きちんと運営されている施設も同じ扱いになるのが残念です。



最後に。近江商人の心得「売り手よし・買い手よし・世間よし」という信頼関係は福祉事業にも通じると思います。臨済宗

の大師の歌に「大いなるものに抱かれあることを 今朝吹く風の涼しさに知る」とあるのですが、私も何か世の中の役に立つのかなと心にしまっ